

## なんだ・かんだ

### ◆ 世界で一番優しい会議の教科書 ◆ 榊巻亮 日経BP社

この本は、ベストセラーになった「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」と同じ様な小説仕立てで、時間ばかりかかっても何も決まらない「グダグダ会議」の改善手法を、分かりやすく解説している本で、面白おもしろく読み進めることができます。

一生で会議に費やす時間は、入社10年目まで3回/週2時間ずつ、~20年目まで5回/週2時間ずつ、~30年目まで5回/週8時間ずつで、合計すると約「3万時間」だと筆者は書いています。ここまで行かなくとも、入社から30年間1回/週、2時間ずつ50週で、3千時間。これを8時間で割ると375日分。丸々1年分となります。この貴重な時間を有意義な時間にしなければならないと言うのがこの本の趣旨です。

本では、葵という入社2年目の女子社員が、コンサルタントの父から会議の進行役である「ファシリテーター」の基礎を学んで、会社の会議を改善していくというストーリーになっています。ファシリテーターとは、会議やミーティングなどにおいて議事進行を務める人のことで、中立な立場を守り、段取り・進行・プログラムを鑑みながら参加者の心の動きや状況を見つ、議事を進行し、問題の解決や合意の形成に導く役割をする人のことです。

ファシリテーターのテクニックとして、最初に、①「決まったこと」「やるべき事」を確認する。②会議の終了条件を確認する。③議題毎の時間配分を確認する。この3点をすべきであると言っています。当社でも普段①はやっているの、とりあえず、②について実際の会議で実行してみました。とかく議論が脱線してしまう会議も、会議の始めに「どういう状態になったら会議を終了するのか」要するに何が決まれば良いのか、この会議の参加者全員が認識した上で会議を進めていけば、意外と議論が脱線しそうなしても元の筋に戻すことが出来ました。

その後は、とかく参加者が好き勝手に意見を述べかみ合わなくなってしまう会議を、出た意見を整理しながら目の前にあるホワイトボードに書くことにより意見の散逸を防ぎ会議の「見える化」をするという一歩進んだファシリテーションに進みます。(当社では出来ませんでした)

更に会議の進行方法や準備についてより高度なテクニックに話が進みますが、取りあえず、ホワイトボードに会議の進行をまとめることが出来る所まで来れば、普通の会議は格段に良くなると思えました。

筆者が言うには、日本の会議は一向によくならないのは、

①「会議のお手本を見る機会がない」 誰も会議の仕方を知らない。会社設立以来、課長や部長も我流で会議をやってきた。誰にも教わった事がないのだから当然である。良い会議がどんなものか見たこともないのに、想像だけで変えるのなんて普通無理だ。

②「会議の“変え方”を教えてくれる人がいない」 何から手をつけ、何から変えていけばいいのか、当然誰も教えてくれない。従って会議は変わりようもない。

逆に「会議は、「やり方」と「変え方」を知れば確実に変えられる」と筆者は言います。しかし、回りに教えられる人は居ません。ご興味のある方はとりあえずこの本を読んで自社の会議に取り入れてみてはいかがでしょうか。



### ■ 中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業 ■

- 1月にご案内した補助金の詳細がはっきりしたのでご案内いたします。
- ・高効率照明・高効率空調・産業ヒートポンプ等の設備が補助対象
- ・補助率：1/3 ・補助対象事業：更新のみ 補助対象経費：設備費のみ
- ・予算：442億円(1次公募：約309億円、2次公募約133億円)
- ・省エネ効果の新旧比較資料を提出が必要
- ・公募期間(1次公募)：2016年3月22日(火)~4月22日(金)
- (2次公募)：未定(1次公募採択発表後に開始)

※平成26年度補正予算のA類型のような先着順の採択ではなく、一定期間内に受付した申請について総合的に評価して採択される。

## 新年度スタート

今年はずっとも温度差のあるはつきりした三寒四温をくり返し、春が巡ってきました。もうダウンは仕舞っても良いかなと思えば、暑くなったり、そうかと思えば、ヒートテックを着ているがために、暑くても脱げない汗が出て仕方ない日があったりと、着るものには大変迷わされました。

寒さに弱い私としては春の暖かさは救いなのですが、数年前からの時期花粉症に悩まされるようになってきており、その症状も少しずつですが悪くなっています。特に今年は「目」にきています。私は重度の近眼でコンタクトをしていて、かゆみを抑制する目薬をさすことができないので、「巨かゆくなるとうたまりません。よく花粉症の大先輩の妻が「目を取り出して洗いたい」と言っていました。今では気持ち良くわかります。気分はかなりブルーです。

しかし、今週から新しい年度が始まります。桜が咲き誇り、花粉の飛び交う中、今年も「先が見えない年」で不安がいっぱいですが、気分も新たに希望を持ってスタートを切りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

代表取締役 服部 敏郎

## 社員ブログ

### ●身に沁みてきた言葉●

総務部 服部素子

「子供叱るな 来た道じゃ 年寄笑うな 行く道じゃ」以前からよく聞いている言葉でしたが、今は身に沁みるように感じます。

最近、沢山のお年寄りと接する機会がありましたので特に痛感しています。おぎやと生まれ一生を終えるまでの人生で、一人一人がどの時点で今生の役目を終えるかが違いますので、すべての人に当てはまるわけではありませんが、実際、自分自身も子供の時は 社会のルールも何も訳が分からず、大人の言うことやることを見ながら それが自分の常識として身につけていきます。そんなままさらな状態からの現在があり、そしてその先には老いが待っています。

簡単に言えば、回りにいる子供たちを見て、自分もそんな時代があったでしょ？だからなんでそんな事も解らない？出来ないの？なんて無闇に叱られたくなかったでしょ？と自分に問う。

そしてお年寄りを見て自分もこうなるんだよ、そんなことも出来ないの？なんて言えないよね？笑えないよね？と自分を諭す。

知識も経験も積み 体も思う様に動く自分自身を基準に考えるため、時に過去と未来を忘れ傲慢な態度を取りがちですが、相手の立場に立ち、自分もこうだった、自分も今にこうなると思えば、優しい心と目で接する余裕が出るのかもしれない。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

・株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/